

# 「三賢者の足跡」注目

芭蕉・義経  
芭八

「まちネット」  
東京で出展 山形情報を発信

イザベラ・バードや松尾芭蕉、源義経の足跡をたどり県内踏査に取り組む東京のまちづくりグループ「元気・まちネット」が、東京・池袋サンシャインシティで今月上旬に開かれた「東京アウトドアズフェスティバル08」に初めて「最上川・街道・三賢者」と題したブースを出展、山形情報を発信し注目を集めた。

元氣・まちネットは、戸沢村出身で都内在住の矢口正武さん(61)が主宰。新たな観光資源発掘や地域活性化につなげようと、これまで徒歩や自

転車で源義経北国落ちルート(二〇〇六年)、英旅行家イザベラ・バード紀行ルート(〇七年)を踏査し、三年目の今年は芭蕉の奥の細道ルート踏査に取り組んでいる。

今回まちネットはフェスティバルのテーマが「歩く旅」とあって、活動成果をPRする好機ととらえブース出展を計画。「三賢者」の足跡をたどる踏査行の写真やルート図を展示した。計六十四団体が出展した今月四―六日の同フェスティバルにはおよそ二万人が来場。「三賢者」ブース

では、まちネットが製作したA1判の踏査マップを欲しが  
る人が相次いだ。

都内の主婦は「海外にはト  
レッキングでよく出かけるが  
今年はお出羽三山に行ってみよ



東京アウトドアズフェスティバルで「三賢者」の  
県内ルート踏査記録が注目を集めたブース

＝東京・池袋サンシャインシティ

う」と興味深げ。米沢出身で  
千葉在住の男性は「古里のこ  
とをあまり知らなかった。機  
会を見つけて小国十三峠とバ  
ードの道を歩いてみたい」と  
話していた。矢口さんは「来  
年はもっと大々的に山形をP  
Rできれば」と意欲を見せて  
いた。